



FI ナイター

第7回 依信之杯& サンスポZBAT!杯 争奪戦

10/11(土) 12(日) 13(月)

おもな出場予定選手				
班別	選手名	登録地	期別	
S1	永澤 剛	青森	91	
	神山 拓弥	栃木	91	
	菅原 大也	神奈川	107	
	谷口 遼平	三重	103	
	中井 太祐	三奈良	97	
	町田 太我	奈島	117	
	久田 太裕	徳島	117	
	伊藤 旭	熊本	117	
S2	菊地 圭尚	北海道	89	
	嵯峨 昇喜郎	青森	113	

深谷知広はSS班を手放したが、GⅢ、FI戦でそれぞれ2Vを飾るなど、パワーあふれる自力攻撃の破壊力は相変わらずで、流れを問わず特別競輪の舞台でも主役級。GIともなると脇本雄太、眞杉匠、犬伏湧也など超強力な自力型との対戦も多く大変だが、ここは破壊力抜群の自力攻撃で別線を粉碎しよう。今回S1の南関勢に限って深谷の他に菅原大也がしかおらずマーク喰い下がり南関勢でワンツーを目指す。一方の杉森輝大も調子は良好。7月小松島記念で決勝に乗るとオールスターの一次予選では、同県吉田有希の逃げに乗って勝利。

平成の怪物・深谷知広がシリーズを牽引!

注目選手



深谷 知広

静岡 96期

今シリーズ競走得点トップ。圧倒的なパワーとスタミナで競輪界を牽引する一人。多数のGI、GIIレースを制覇するなど超一流のスピードを披露する。

注目選手



杉森 輝大

茨城 103期

シャープな差脚に加えて自力型も顔負けの捲りを持ち混戦でも即応出来る脚がある。今年は記念競輪で3度優勝とFI戦なら力上位なのは明らかだ。

8月のFI宇都宮では完全優勝を飾るなど相変わらず良い動きだ。ラインの神山拓弥もオールスターで確定板に3度載るなど打倒深谷に栃茨勢が結束。岡崎智哉は残念ながらオール

注目選手



岡崎 智哉

大阪 96期

近畿の層が厚すぎてGIでは三番手キャラ。年齢層の高いファン層にはせっかくの小気味よいラップや詩吟も??6月高知FIのV含め5連続優勝と上々だ。

地元選手



大森 慶一

北海道 88期

オールスターで相手が一枚上だったが、一次予選では弟子の中石湊を援護した渾身のブロックが印象的。この処調子を上げてきていただけに好走は必至。

スターの二予選で落車帰郷。その前まではすこぶる良い動きを見せていただけに今回は函館バンクで屈辱を期すか。伊藤旭は自慢の自在脚が冴え渡る。今回はナイター開催だがV奪取なら天変地異のアサヒを昇らせる!大森慶一、永澤剛の北日本勢も好位置占めると浮上してきそうだ。

おもな出場予定選手

班別	選手名	登録地	期別
A1	谷津田 将吾	福島	83
	小池 千啓	栃木	119
	丸山 直樹	埼玉	93
	寺沼 伊織	東京	115
	巴 直也	神奈川	101
	小笹 隼人	奈良	105
A2	張野 幸聖	和歌山	115
	川上 隆義	栃木	125
L1	神戸暖 稀羽	北海道	124
	小林 優香	福岡	106

個性派が揃って
熾烈な優勝争い!

小笠原光は捲り二辺倒の走りになったが、前期はV4、今期に入ってから動きも悪くない。踏み出しのタイミング次第ではガード確かな谷津田将吾と上位独占も。強敵はベテランレーサーの山内卓也。降級前の前期は地元の3月名古屋記念で優出、S級の舞台でも健在ぶりを披露していた。降級後は松阪Vを皮切りに完全優勝を含め既に3Vを達成。目標有無に関わらず実績にモノを云わせる。関東の軸になる小池千啓は高い機動力で優勝を続けており、6月宇都宮MNでは優勝している。直近の15場所決勝戦に乗れなかつ

注目選手



小笠原 光 岩手・117期

8月平で完全V。出脚強烈な捲りが最大の武器なだけに、要は型に嵌るかだけ。

注目選手



山内 卓也 愛知・77期

中部のベテランレーサー。云うまでもなく実績はNo.1の存在でVの筆頭級。

地元選手



外崎 一成 北海道・94期

今年3度目の地元参戦。苦しい展開を強いられているが1着で締めくくるか。

たのが僅か2回と抜群のスピードで別線を唸らせるか。遠征勢では張野幸聖に要警戒。前期S級では精彩を欠いたが、7月降級後は岸和田と静岡で優勝と高いポテンシャルを武器に優勝戦線に加わる。

おもな出場予定選手

班別	選手名	登録地	期別
S1	飯野 祐太	福島	90
	高橋 築	東京	109
	寺沼 拓摩	東京	115
	稲毛 健太	和歌山	97
	晝田 宗一郎	岡山	115
	福島 武士	香川	96
	阪本 和也	長崎	115
	中本 匠栄	熊本	97
S2	五日市 誠	青森	89
	酒井 雄多	福岡	109

皿屋豊の
スピードを重視!

今節のシリーズリーダーを務めるのは皿屋豊。6月宮杯の二予では取島雄吾、山田庸平相手に快勝、続く7月玉野SNの一次予選では、浅井康太を引き連れて河端朋之や橋本瑠偉を粉砕とスピードは今開催で最上位だ。迎え撃つ北日本勢は地元の川津悠揮と飯野祐太が結束。ここにS2班の上昇一途、小堀敢太や酒井雄多が予選通過してくる様ならラインの厚みを生かし川津が地元Vで締めくくるか。関東勢は高橋、寺沼拓摩に期待がかかる。ともに自在型だが、年齢の若い寺沼が前で戦うか。共に超一流との激戦を凌いでおり、

注目選手



皿屋 豊 三重・111期

今年の前半までは先行が多く見られたが後半は捲り重視の競走で切れ味は抜群。

地元選手



川津 悠揮 北海道・96期

8月地元のオールスターでは33433の大活躍。北日本結束で地元Vは頂くぜ!

地元選手



小堀 敢太 北海道・125期

A級時代は圧倒的な機動力で別線をねじ伏せ7月に特別昇級と乗りに乗れている。

別線をかく乱し東京両者でのワンツーも十分ありそう。遠征勢は近況捲りの多い晝田宗一郎だが型通りに運ばば、先月の岐阜記念で菅田志道や渡部幸訓を粉砕している様にキラあるスピードを持っている。